

# 紫外線や風雪に強く、付着した汚れも雨水がセルフクリーニング

## 塗装セメント系屋根・金属系屋根用塗料

2液弱溶剤形ウレタン変成NAD樹脂塗料

# ダイヤナチュラルウレタンルーフU

1液弱溶剤形シリコン変成NAD樹脂塗料

# ダイヤナチュラルシリコンルーフS

耐候型

低汚染型

防カビ

防藻



BUILDING TRUST



### ■施工・管理上の注意点

#### 【塗装面の調整(新設)】

- ①素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レイタイン等を完全に除去して下さい。  
②雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。

#### 【塗装面の調整(新設・改修共通)】

- ①屋上防水、目地排水管等下水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。  
②使用シリカ系材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。

#### 【塗装面の調整(改修)】

- ①各現場の改修工事様に基づき劣化部分の補修や既存塗膜の処理(ケレン、清掃、高圧水洗浄)などを行なって下さい。  
②脆弱層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。  
③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。  
④素地に付着しているゴミ、ほこり、カビ、藻などは、高圧水洗浄などでいねいに取り除いて下さい。洗浄は高圧水洗浄ができない場合は、水流しながらデッキブラシ・ワイヤーフラッシュワソ等で用いて取り除いて下さい。洗浄後は十分に乾燥して下さい。スレート波板の溝の部分、重ね箇所、フックボルト周辺などは入念に清掃して下さい。旧塗膜が劣化して、浮いたり、割れたり、膨れたりしている箇所はケレン除去して下さい。  
⑤寒冷地における屋根材は、塗膜のフレーク・割れ等の劣化が著しく、下地が脆くなっています。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離の原因となります。光沢がないなど仕上がりが不良になりますので、入念に行う必要があります。  
⑥下地表面が劣化し、吸い込みが大きくなっている場合は2回塗布して下さい。  
⑦既存塗膜の種類によりリフリギング(シボ)を発生することがありますので、あらかじめ立合ない箇所で確認して下さい。

#### 【材料の保管・管理】

- ①開缶した材は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。  
②材料の保管は温度や温度上昇による変質を防ぐため、気温5~35°Cで、密封のまま直射日光を避け、庫内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。  
③下地の吸込みは、仕上がりが良くなりますので、入念に行う必要があります。  
④下地表面が劣化し、吸い込みが大きくなっている場合は2回塗布して下さい。  
⑤既存塗膜の種類によりリフリギング(シボ)を発生することがありますので、あらかじめ立合ない箇所で確認して下さい。

#### 【施工の注意】

- ①施工は温湿度5°C以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合は、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。

②硬化剤は温湿度5°C以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合は、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。

③材料は使用前に十分攪拌し、均一にから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の遮蔽性能が発現できませんので注意して下さい。

④材料は付着するゴミ、ほこり、カビ、藻などを、高圧水洗浄ができない場合は、水流しながらデッキブラシ・ワイヤーフラッシュワソ等で用いて取り除いて下さい。洗浄後は十分に乾燥して下さい。スレート波板の溝の部分、重ね箇所、フックボルト周辺などは入念に清掃して下さい。旧塗膜が劣化して、浮いたり、割れたり、膨れたりしている箇所はケレン除去して下さい。

⑤乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により異なります。  
⑥下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。

⑦施工にあたっては、同一方法で、入り隙、出見等見切りの良いところまで仕上げて下さい。同一屋根面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。

⑧施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で白化や色ムラが発生し、屋根塗付面に残る場合があります。

⑨本施工に入る前に試験塗りを行なう。施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがどうにかならないよう確認して下さい。

⑩希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるときいに仕上らないことがあります。特に濃色や原色に近い色の場合、吸い込みがない場合は少なめに希釈して下さい。

⑪常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。

⑫安全衛生上の注意事項についての表示を示させてご参照下さい。

⑬一度に厚く塗ると色が発泡が生じることがありますため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布してください。

⑭塗装下地の差によって、塗布量が変わることがあります。

⑮フッ素や無機系などの難接着塗装処理がされている下地については、付着性が十分に発揮されないことがありますので、ご使用の場合は最寄の営業所へご相談下さい。

⑯可使用時間及び塗装時間は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。

⑰使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。

⑱濃色や原色に近い色の場合、強くすると色が取れる場合があります。

⑲下地の吸込みムラにより色彩のムラが発生する場合があります。

⑳上塗材を施工する場合は、下塗り後の乾燥状態を確認して下さい。

㉑ダイヤガンコシーラーマイルド、ダイヤナチュラルウレタンルーフUは液タイプですので、小分けする場合は調合割合を厳守し、十分混合して下さい。又、混合したものは可使用時間の内に使い切って下さい。

#### 【安全衛生上の注意】

㉒取扱いは、できるだけ皮膚に触れないないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。

㉓取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。

㉔子供の手の届かない所に保管して下さい。

㉕廃油材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

㉖目にに入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

㉗誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

㉘中止を使いつぶらから廃棄して下さい。

㉙皮膚に付着した場合には、直ちに石鹼と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは医師の診断を受けて下さい。

㉚臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

#### 【その他】

㉛他の詳しいは、最寄の営業所へお問い合わせ下さい。

㉜施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については、同様書等をご確認下さい。

㉝施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については、安全データシート(SDS)をご確認下さい。

#### 安全にご使用いただくためのお願い

この見本帳に記載の商品を取り扱う際には、各商品の容器に表示されている注意事項をよく守って下さい。

施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については、同様書等をご確認下さい。

㉞施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については、安全データシート(SDS)をご確認下さい。

1.この見本帳に記載の商品は、原告なしに仕様や取り扱いを変更することができます。

2.この見本帳の使用有効期限は、2027年1月までです。それ以降のご使用はさけ下さい。

3.施工に関するお問い合わせは、最寄の営業所にご相談下さい。

2023年4月1日よりシーカーグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカー株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト

<https://www.dia-dyflex.jp/>

にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお問い合わせ下さい。

(24.8月現在)24.08.1,000 SJ 頒布価格 1,380円



シーカ・ジャパン株式会社

東京都港区元赤坂1-2-7 赤坂Kタワー7F

TEL. 03-6434-7291

## 標準施工工程

工 程	材 料 名	調合割合	所 要 量	塗回数	間隔時間		施工用具
					工 程 内	工 程 間	
下地調整	ゴミ、ほこり、カビ、藻等は、きちんと除去して下さい。洗浄は高圧水洗浄ができない場合は、水を流しながらデッキブラシ等で清掃して下さい。洗浄後は充分に乾燥させて下さい。 旧塗膜が劣化して、浮いたり、割れたり、膨れたりしている場合はきちんと除去して下さい。 発錆部分はケレン後、ヒスイエボサビ #100でタッチアップして下さい。 トタン波板の溝の部分、重ね箇所、フックボルト周辺など入念に清掃して下さい。						
1 下塗り ※2	ダイヤガンコシーラーマイルド 無希釈	A液 14kg B液 1kg	0.1~0.3kg/m <sup>2</sup> 50~150m <sup>2</sup> 缶	1~2 ※3	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	刷毛、エアレス 中毛ローラー
2 上塗り	ダイヤナチュラルウレタンルーフU A液(基剤) B液(硬化剤) ダイヤシンナーN	13kg 2kg 0~5リッル	0.25~0.35kg/m <sup>2</sup> 43~60m <sup>2</sup> 缶	2	3時間以上 7日以内	—	刷毛、エアレス 中毛ローラー
2 上塗り	ダイヤナチュラルシリコンルーフS ダイヤシンナーN	15kg 0~2リッル	0.27~0.33kg/m <sup>2</sup> 45~55m <sup>2</sup> 缶	2	3時間 以上	—	刷毛、エアレス 中毛ローラー
3 縁切り	水切り部でコロニアリ、カラーベストの上下の重なり部分が塗料でつまっている場合は必ず皮スキ・カッターなどを用いて縁切りを行なって下さい。						
1 下塗り ※5	ダイヤヒスイエボサビ #100 ダイヤシンナーN	15kg 0~6リッル	0.18~0.20kg/m <sup>2</sup> 75~83m <sup>2</sup> 缶	1	—	4時間 以上	刷毛、エアレス 中毛ローラー
2 上塗り	ダイヤナチュラルウレタンルーフU A液(基剤) B液(硬化剤) ダイヤシンナーN	13kg 2kg 0~5リッル	0.25~0.35kg/m <sup>2</sup> 43~60m <sup>2</sup> 缶	2	3時間以上 7日以内	—	刷毛、エアレス 中毛ローラー
2 上塗り	ダイヤナチュラルシリコンルーフS ダイヤシンナーN	15kg 0~2リッル	0.27~0.33kg/m <sup>2</sup> 45~55m <sup>2</sup> 缶	2	3時間 以上	—	刷毛、エアレス 中毛ローラー

※1 所要量は標準値です。下地の種類や状態により増減します。

※2 ダイヤガンコシーラーも使用できます。

※3 下地表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は2回塗布し固着して下さい。

※4 極低温時(気温5°C程度)の工程間隔時間は16時間以上あけて下さい。

※5 下地がアルミ、ステンレス(SUS 304以外)の場合はダイヤヒスイエボプライマーをご使用下さい。

過酷な環境下でも長期間に亘って屋根を守り続けます。

2液弱溶剤形ウレタン変成NAD樹脂塗料

# ダイヤナチュラルウレタンルーフU

1液弱溶剤形シリコン変成NAD樹脂塗料

# ダイヤナチュラルシリコンルーフS



## ■ 標 準 色 ■



↑ R-211 アカサビ



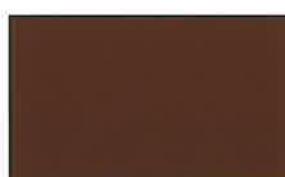
↑ R-212 ブラウンレッド



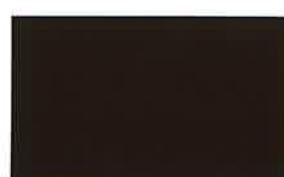
↑ R-222 ブラウン



↑ R-214 チョコレート



↑ R-232 ミュンヘンブラウン



↑ R-234 ダンケルブラウン



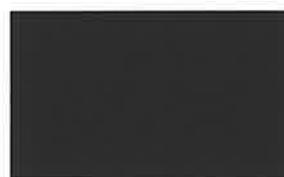
↑ R-272 カカオブラウン



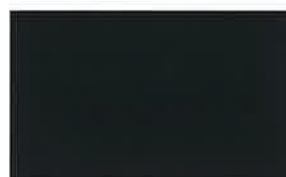
↑ R-273 コーヒーブラウン



↑ R-269 グレー



↑ R-235 チャコールグレー



↑ R-236 ナチュラルグレー



↑ R-216 ブラック



★↑ R-241 オリーブグリーン



↑ R-225 ウェザードグリーン



★↑ R-203 グリーン



★↑ R-274 モスグリーン



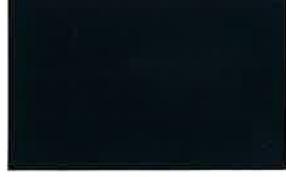
★↑ R-230 ライトブルー



★↑ R-231 スカイブルー



★↑ R-238 ケルンブルー



★↑ R-242 ナスコン

## ■ 適用下地

### ● 窯業セメント系屋根：スレート系屋根瓦

(波形スレート・コロニアル・カラーベスト)

\*厚形スレート瓦、コンクリート瓦の改修には適用できません。

### ● 金 属 系 屋 根：トタン、アルミ、ステンレスなど

## ■ 包装単位

ダイヤガンコシーラーマイルド ..... 15kg (14/1) セット

ダイヤガンコシーラー ..... 15kg 缶

ダイヤヒスイエポサビ #100 ..... 15kg 缶

ダイヤハイエポプライマー ..... 20kg (17/3) セット

ダイヤナチュラルウレタンルーフU ..... 15kg (13/2) セット

ダイヤナチュラルシリコンルーフS ..... 15kg 缶

ダイヤシンナーN ..... 16ドル缶

ダイヤエポキシ用シンナー ..... 16ドル缶

※この色見本は紙に塗装していますので、実際の仕上りと多少異なる場合があります。  
※★印は材料費が割高になりますのでご了承下さい。